

厚生労働省 老人保健健康増進等事業
「介護福祉士養成校と実習施設が連携した実習のあり方に関する調査研究事業」

介護実習に関するアンケート調査

【本調査の目的】

介護職員の確保・専門性向上が喫緊の課題となっている中、介護福祉士養成施設等（介護福祉士養成施設および福祉系高校を指す。以下、養成校という）では、2019年度からの養成課程への新カリキュラム導入が行われ、養成校と実習先となる介護施設（以下、実習施設という）の双方に向け、介護実習におけるガイドライン（日本介護福祉士会、2019）が作成されています。また、平成24年より実習Ⅱに該当する実習施設に受講が義務付けられた実習指導者講習会により、介護実習における実習内容の質は高まってきています。

しかしながら、未だ実習施設の実習指導者によって実習指導方法や実習指導の質に差が生じているといった実態や、養成校と実習施設との連携不足のため実習の質が担保されていないといった実態が指摘されており、質の高い実習教育の提供に向けて改善の必要性が指摘されています。

また、ここ数年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、「一部の日程を実習施設で実施できなかった」とする養成校が多かったという実態もありますが、実習施設で実習ができなかった場合、学内実習をはじめどのような代替手段が採られているか、その場合でも十分な効果が得られているのか等を明らかにした調査はこれまで見られません。

このため、本事業では、介護実習に関する養成校の教員等が行う実習準備や、実習中の巡回指導の実態、および実習施設の実習指導者が行う受入れ準備の実習対応の実態等を調査することを目的に、アンケート調査を実施します。

新型コロナウイルス感染症の流行により、利用者の生活を第一としながらの実習実施には、多くの困難があることと思います。このような中での介護福祉士養成に欠かせない実習実施のため、養成校と実習施設がどのように協力・連携していけば良いかを検討していく必要があります。今回の調査結果は、厚生労働省に報告し、上記観点も踏まえ、適切な介護実習の在り方の検討にむけた基礎資料として活用されるものです。本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【本調査の対象】

全国の養成校（介護福祉士養成施設、および福祉系高等学校）
※各校の実習責任者の方にご回答をお願いします

【回答期限】

10月6日（金）までに WEBにてご回答ください。

【調査票の取扱いに関しまして】

ご回答いただきました内容につきましては、次のように取扱います。

- ・ 調査で得られた内容は、安全措置を講じてデータの漏洩がないように保管し、施設や回答者が特定できないよう統計処理をいたします。また、研究終了後は、個人情報に該当するデータを破棄いたします。
- ・ 調査への拒否があっても、そのことで不利益が生じることは一切ございません。

■ 本調査に関する問合せ先

PwCコンサルティング合同会社 公共事業部（担当：安田(やすだ)・岡田(おかだ)・福村(ふくむら)）
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1 Otemachi Oneタワー
E-mail: jp_cons_jissyurenkei2023@pwc.com

※本調査における「代替実習」の定義は、以下の通りとします

代替実習の定義

参考:「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う医療関係職種等の各学校、養成所及び養成施設等の対応について」(令和2年6月1日付け文部科学省・厚生労働省連名事務連絡)。

- 新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、実習施設の変更を検討したにもかかわらず、実習施設の確保が困難となったために、以下のいずれかで実施すること。
 - ア. 年度をまたいで実習を実施すること。
 - イ. 実習に代えて演習又は学内実習等を実施すること。
- 本調査においては、上記のうち「イ. 実習に代えて演習又は学内実習等を実施すること。」に該当する実習を代替実習と定義します。

■ 実践事例等

参考:「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う医療関係職種等の各学校、養成所及び養成施設等の対応について」(令和2年6月1日付け文部科学省・厚生労働省連名事務連絡)。

- (1) 三密を避けた状態での、シミュレーターを用いての基本手技の実習。
- (2) オンラインによる模擬実習(カンファレンス、ミニ講義、手術や手技のビデオ供覧と解説、試問、レポート提出)。
- (3) オンラインによる臨床推論能力の養成を目的とする授業。
- (4) 研究棟や講義棟での電子カルテを用いた症例検討や動画視聴、シミュレーターによる技能学習(人数制限並びに部屋の換気等感染防止措置を実施。)
- (5) 学習の臨床実習予習ノートを用いた e-Learning による在宅学習(各実習の指導教員がメールでの質問への回答)。
- (6) 事例データベースを作成し、事例データベースを基に、学内においてシミュレーション教育を実施。
- (7) 臨床実習指導者参加型遠隔指導システムを使用し、書面や動画を含めて臨床推論指導を実施。
- (8) 実習先講師を招聘し、実習先での状況や実習を行った時の対応など、通常より現場に近い授業演習を実施。
- (9) 臨地(病室、在宅、居室)と大学をオンライン接続し、以下の内容の学内実習を行う。
 - ・ 臨床実習への協力の同意を得た患者にオンラインで聴取する。
 - ・ 指導教員が収集した患者の日々の様子の映像情報を用いて、計画を策定する。
 - ・ リアルタイムの患者の状況を確認・評価しながら、日々の計画を策定する。
 - ・ 学生が役割分担するなどにより、学内でのロールプレイを通じて技術を習得する。

I. 2022年度の実習に関する基礎情報

※以下、2022年度の1年間における貴校での介護実習についてお答えください

問1. 2022年度1年間における、貴校の実習の履修者数を教えてください。(数値)

※学年を問わず全学年分の人数をご回答ください

※実習を履修している生徒の実人数をお答えください

(例：1名の生徒が実習Ⅰを数回履修している場合も1カウントとする)

項目	実習Ⅰ(実人数)	実習Ⅱ(実人数)
実習の履修者数	()人	()人
—うち通常実習のみの実施者数	()人	()人
—うち通常実習と代替実習の双方の実施者数	()人	()人
—うち代替実習のみの実施者数	()人	()人

問2. 2022年度の1年間で、貴校の実習先となった実習施設のサービス種別すべてを教えてください。(MA)

※訪問実習・代替実習ともに、該当する実習施設のサービスすべてをお答えください

【実習Ⅰ】

1. 訪問介護
2. 通所介護
3. 通所リハビリテーション
4. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
5. 介護老人保健施設
6. 養護老人ホーム
7. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
8. 小規模多機能型居宅介護
9. 看護小規模多機能型居宅介護
10. 特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム、ケアハウス等)
11. 障害者支援施設
12. その他施設・事業所(具体的に)

【実習Ⅱ】

1. 訪問介護
2. 通所介護
3. 通所リハビリテーション
4. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
5. 介護老人保健施設
6. 養護老人ホーム
7. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
8. 小規模多機能型居宅介護
9. 看護小規模多機能型居宅介護
10. 特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム、ケアハウス等)
11. 障害者支援施設
12. その他施設・事業所(具体的に)

[問2で選択した項目のみ]

問2-1. 前問で回答した実習施設における、貴校の実習におけるサービス種別ごとの学生1人当たりの実習時間数を教えてください。(数値)

※複数人が実習に行っている場合、1人当たりの全実習日程における平均時間をご回答ください

項目	実習 I	実習 II
訪問介護	1人当たり()時間	1人当たり()時間
通所介護	1人当たり()時間	1人当たり()時間
通所リハビリテーション	1人当たり()時間	1人当たり()時間
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	1人当たり()時間	1人当たり()時間
介護老人保健施設	1人当たり()時間	1人当たり()時間
養護老人ホーム	1人当たり()時間	1人当たり()時間
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	1人当たり()時間	1人当たり()時間
小規模多機能型居宅介護	1人当たり()時間	1人当たり()時間
看護小規模多機能型居宅介護	1人当たり()時間	1人当たり()時間
特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム、ケアハウス等)	1人当たり()時間	1人当たり()時間
障害者支援施設	1人当たり()時間	1人当たり()時間
その他施設・事業所 ※複数サービスがある場合は、1施設・事業所あたりの平均時間 をご回答ください	1人当たり()時間	1人当たり()時間

II. 実習における具体的対応および工夫点

※以下、時期を問わず、これまで貴校で行った介護実習全般についてお答えください

【実習前対応】

問3. 【実習 I II 全般】実習前、実習施設に対し、実習意義／実習目的を伝達するためにどのような対応をしているかを教えてください。(MA)

1. 実習計画書を共有する
2. 打ち合わせ等の機会を設けたうえでの実習計画の説明、実習内容のすり合わせ
3. 養成校教員と実習施設職員が共同で実習前研修を実施
4. 実習計画策定段階から実習施設と協議したうえでの計画策定
5. 学生の個別特性 (性格や学習上の特性等) と関連付けた実習計画の説明
6. 実習評価方法や評価項目の説明
7. その他 ()

[問3で3.-7.を選択した方]

問3-1. 【実習ⅠⅡ全般】前問で回答した実習施設への対応について、対応内容を詳しく教えてください。(FA)

実習意義／実習目的を伝達するための具体的な対応内容	(何を対応したか) (例)施設の実習担当者と養成校実習担当教員で、実習指導者会議を開催し、実習の目的と目標を共有した。また、実習評価の基準を実習施設に伝達し、評価に関する基準や評価項目の設定目的を説明したさらに、どうやったら学生のやる気を引き出せるか、実習指導における好事例を両者で共有した。
	(どの時期に対応したか) (例)実習開始 1 か月前
	(どのような方法で対応したか) (例)養成校教員が実習施設に訪問して対応した。

問4. 【実習ⅠⅡ全般】実習前、学生に対し、教員がどのような対応をしているかを教えてください。(MA)

1. 実習を行うにあたっての学生の自己分析への指導・助言
2. 学生が作成する実習目標立案への指導・助言
3. 実習日誌作成にかかる指導・助言
4. 実習施設の特性について学生に指導・助言
5. 実習評価方法や評価項目について指導・助言
6. 学生の実習前訪問の調整・準備
7. その他 ()

問5. 【実習ⅠⅡ全般】教員が学生の実習先を決定する際、実習先と学生のマッチング状況を考慮する上で重視する情報を教えてください。(MA)

1. 学生の学習上の特性
2. 学生の性格
3. 学生の希望／要望
4. 学生の居住地と実習先住所との距離や、交通手段
5. 実習施設のサービス種別
6. 過去の実習受入れ実績 (自校)
7. 過去の実習受入れ実績 (他校)
8. (過去、実習の受入れがあった場合の) 実習の質的成果
9. 実習受入れ可能人数
10. 実習指導体制
11. 自校卒業生の就職採用実績
12. 自校在校生のアルバイト採用実績
13. その他 ()

問6. 【実習ⅠⅡ全般】前問で回答した実習先と学生のマッチング状況を考慮する上で重視する情報について、①最も重視する事柄と、②その事柄を考慮したうえでの実習先選定における工夫点を教えてください。(SA,FA)

①最も重視する事柄	※前問の選択肢から1つ選択
②上記事柄を考慮してどのような工夫をしているか	※「学生の性格」を選んだ場合 (例)大勢の人数の中ではうまく発言できず、思考がゆっくりの学生に対しては、利用者が多い特別養護老人ホームや介護老人保健施設ではなくグループホームを実習先にする 等

問7. 【実習ⅠⅡ全般】実習評価を行う際の評価表について、どのようなものを活用しているかを教えてください。(MA)

1. 都道府県や市区町村で作成された評価表
2. 学校独自で作成した評価表
3. その他 ()
4. 特段評価表はない／実習施設に任せている

【実習中対応】

問8. 【実習ⅠⅡ全般】実習中の学生を指導するにあたり、関わる教員数について、最もあてはまる形態を教えてください。(SA)

※巡回指導担当教員以外にも教員がかかわる場合、全教員の数についてお答えください

1. 全学生に対し、複数人体制で対応
2. 学生によっては複数人体制で対応
3. 学生1人に対し、担当教員は1名／学生複数に対し、担当教員は1名(教員の重複なし)

問9. 【実習ⅠⅡ全般】実習中の教員体制における貴校での体制構築の工夫点を教えてください。(FA)

教員体制における体制構築の工夫点	(例)1人の学生につき教員2名体制を採っており、具体的な実習指導をする教員と、学生の悩み等の相談を受ける教員と担当を分けている 等
------------------	---

問10. 【実習ⅠⅡ全般】巡回指導時、実習内容／実習目標の到達状況に関し、実習施設の実習指導担当者とどのような項目について協議するかを教えてください。(MA)

※貴校で巡回指導時に一般的に行っている事柄についてお答えください

1. 介護福祉士の業務に対する姿勢の理解・実践状況
2. 介護現場でのコミュニケーション実践状況
3. 介護福祉士としての職業倫理の理解・実践状況
4. 介護施設・事業所の理念・基本方針・概要・役割・機能の理解状況
5. 利用者像の理解状況(利用者の思いや希望を理解できているか)
6. 利用者を観察する視点の発揮状況
7. 利用者の生活と地域との関わりについての理解状況
8. 介護の根拠の理解状況
9. 介護技術の実践状況
10. 自立支援にかかる概念の理解状況
11. 介護過程の展開に関する実施状況
12. 施設・事業所内での多職種連携の必要性の理解状況

13. 施設・事業所と、地域その他施設・事業所との多職種連携の必要性の理解状況
14. その他（ ）
15. 特に協議をしていない

問11. 【実習ⅠⅡ全般】実習期間中の実習指導担当者との協議に関し、実習の質を高めるために、どのような工夫をしているかを教えてください。（FA）

実習担当者との協議について 実習の質を高めるために 行う工夫点	(例)学生の実習の状況を踏まえ、実習施設担当者との協議の上、実習目標達成のため、多職種連携に関する体験を実習計画に追加してもらう等
---------------------------------------	---

問12. 【実習ⅠⅡ全般】巡回指導時、実習内容／実習目標の到達状況のうち、どのような項目について学生へ指導するかを教えてください。（MA）

1. 介護福祉士の業務に対する姿勢の理解・実践状況
2. 介護現場でのコミュニケーション実践状況
3. 介護福祉士としての職業倫理の理解・実践状況
4. 介護施設・事業所の理念・基本方針・概要・役割・機能の理解状況
5. 利用者像の理解状況（利用者の思いや希望を理解できているか）
6. 利用者を観察する視点の発揮状況
7. 利用者の生活と地域との関わりについての理解状況
8. 介護の根拠の理解状況
9. 介護技術の実践状況
10. 自立支援にかかる概念の理解状況
11. 介護過程の展開に関する実施状況
12. 施設・事業所内での多職種連携の必要性の理解状況
13. 施設・事業所と、地域その他施設・事業所との多職種連携の必要性の理解状況
14. その他（ ）
15. 特に指導をしていない

問13. 【実習ⅠⅡ全般】巡回指導時、問11及び問12の回答以外に教員が行っていることを教えてください。（MA）

1. 実習施設の実習指導担当者へ巡回指導時の学生指導の内容を伝達
2. 実習生が自ら学びを深められるような働きかけ
3. 利用者から学生の対応に関する意見を聴取する
4. 実習生のストレスや悩みのサポート
5. 学生の健康状態の確認
6. その他（ ）
7. 特になし

問14. 【実習ⅠⅡ全般】貴校における平均的な巡回指導回数を教えてください。（SA）

※ 1～3日間等の短期間の実習以外の一定期間以上の実習における巡回指導回数をお答えください。

1. 実習先によらず週1回訪問
2. 実習先によらず週2回以上訪問
3. 実習先施設によっては訪問回数を決めている ⇒問14-1へ
4. 学生によっては訪問回数を決めている ⇒問14-1へ

[問14で3.4.を選択した方]

問14-1. 【実習ⅠⅡ全般】 通常より訪問回数を増やすことになったケースがあった場合、その理由と、追加の訪問時に対応している内容を教えてください。（FA）

訪問回数を増やすことになった理由／追加訪問時の対応内容	(例)巡回指導時に、学生の実習目標の達成状況を踏まえ、追加で学生・実習施設の実習指導担当者との3者面談の時間を設けるため、通常の1回訪問に加え、追加訪問する 等
-----------------------------	--

問15. 【実習ⅠⅡ全般】 貴校における、1施設／1週間あたりの巡回指導時の平均的な実習施設滞在時間（教員の滞在時間）を教えてください。（数値）

※学生／実習先によっては訪問時間に変動がある場合、最も一般的な時間をお答えください。

※複数回訪問の場合は合計を記載ください。

巡回指導における 1週間あたりの教員滞在時間	1施設あたり、合計（ ）分
---------------------------	---------------

問16. 【実習ⅠⅡ全般】 実習中の学生の帰校日に行っていることを教えてください。（MA）

1. 実習内容を踏まえた講義形式の授業の実施
2. グループワーク等で学生同士の学びあいの機会を設ける
3. 実習に関する個別指導を行う
4. その他（ ）
5. 特に帰校日は設けていない

【実習後対応】

問17. 【実習ⅠⅡ全般】 実習後に学内で実習の振り返りを行う際、学生が確認することとなっている項目を教えてください。（MA）

1. 実習目標／実習課題の達成状況
2. 実習目標／実習課題の達成／未達成の理由
3. 実習目標／実習課題以外で新たに学んだこと
4. 実習施設の実習指導担当者からの助言・指導内容
5. 実習そのものにおける反省点
6. 実習施設の運営方針及びその実現に向けての具体的な取り組み
7. 実習施設が今後、取り組んでいこうとする課題
8. その他（ ）

問18. 【実習ⅠⅡ全般】 実習の振り返り授業等を行う際の実践上の工夫点を教えてください。（FA）

実習の振り返り授業を行う際の実践上の工夫点	(例)達成できなかった目標について、これからの学校生活で何をすれば成長できるかの観点から、学生同士のディスカッションを行う 等
-----------------------	---

Ⅲ. 代替実習を実施した際の工夫点

※以下、時期を問わず、これまで貴校で行った代替実習全般についてお答えください

問19. 実習について、自校の教員・職員のみによる代替実習を行った場合、その実施内容を教えてください。（MA）

実習Ⅰ

1. シミュレーターを用いての介護技術に関する演習
2. 模擬実習（カンファレンス、ミニ講義、介護技術のビデオ供覧と解説、試問、レポート提出）
3. 介護現場における利用者を観察する視点の醸成を目的とする授業
4. 介護記録等を用いたケーススタディ
5. 実習予習ノート等を用いた学生の在宅学習（指導教員の質問へ回答）
6. 資料等で模擬的に利用者の状況の変化を確認・評価しながらの計画策定
7. 学生が役割分担するなどにより、学内でのロールプレイ形式での介護技術の修得
8. その他（ ）
9. 自校の講師のみで代替実習を行ったことはない

実習Ⅱ

1. シミュレーターを用いての介護技術に関する演習
2. 模擬実習（カンファレンス、ミニ講義、介護技術のビデオ供覧と解説、試問、レポート提出）
3. 介護現場における利用者を観察する視点の醸成を目的とする授業
4. 介護記録等を用いたケーススタディ
5. 実習予習ノート等を用いた学生の在宅学習（指導教員の質問へ回答）
6. 資料等で模擬的に利用者の状況の変化を確認・評価しながらの計画策定
7. 学生が役割分担するなどにより、学内でのロールプレイ形式での介護技術の修得
8. その他（ ）
9. 自校の講師のみで代替実習を行ったことはない

問20. これまで、実習施設に対し、何らかの代替実習の協力依頼をしたことがあるかについて教えてください。（それぞれSA）

項目	選択肢
実習Ⅰ	1. あり / 2. なし
実習Ⅱ	1. あり / 2. なし

【実習 I】

[問20—実習 I で1.を選択した方]

問20-1. 下記の代替実習（実習 I）の内容について、実習先に何らかの協力を依頼したか、また、そのとき協力いただけたかについて教えてください。（それぞれ SA）

※対面／非対面形式にかかわらず、依頼したことかがあるかについてご回答ください

対応内容	対応方法
利用者とのオンラインによる交流	1. ほとんどの実習施設で協力を得られた 2. 実習施設によって、協力を得られたこともあった 3. ほとんどの施設で、協力を得られなかった 4. これまで依頼したことがない
オンライン又は招聘による施設・事業所職員とのディスカッション	
シミュレーターを用いての介護技術に関する演習	
模擬実習（カンファレンス、ミニ講義、介護技術のビデオ供覧と解説、試問、レポート提出）	
介護現場における利用者を観察する視点の醸成を目的とする授業	
介護記録等を用いたケーススタディ	
実習予習ノートを用いた学生の在宅学習（指導教員や実習施設指導担当者の質問へ回答）	
資料等で模擬的に利用者の状況の変化を確認・評価しながらの計画策定	
リアルタイムで利用者の状況の変化を確認・評価しながらの計画策定	
学生が役割分担するなどにより、学内でのロールプレイ形式での介護技術の修得	
その他（ ）	

[問20—実習 I で1.を選択した方]

問20-2. 前問で回答いただいた代替実習内容（実習 I）の中で、実習目標を達成するため最も効果があったと感じる形式を教えてください。（SA）

1. 利用者とのオンラインによる交流
2. オンライン又は招聘による施設・事業所職員とのディスカッション
3. シミュレーターを用いての介護技術に関する演習
4. 模擬実習（カンファレンス、ミニ講義、介護技術のビデオ供覧と解説、試問、レポート提出）
5. 介護現場における利用者を観察する視点の醸成を目的とする授業
6. 介護記録等を用いたケーススタディ
7. 実習予習ノートを用いた学生の在宅学習（指導教員や実習施設指導担当者の質問へ回答）
8. 資料等で模擬的に利用者の状況の変化を確認・評価しながらの計画策定
9. リアルタイムで利用者の状況の変化を確認・評価しながらの計画策定
10. 学生が役割分担するなどにより、学内でのロールプレイ形式での介護技術の修得
11. その他（ ）

【実習Ⅱ】

[問20—実習Ⅱで1.を選択した方]

問20-4. 下記の代替実習（実習Ⅱ）の内容について、実習先に何らかの協力を依頼したか、また、そのとき協力、協力いただけたかについて教えてください。（それぞれSA）

※対面／非対面形式にかかわらず、依頼したことがあるかについてご回答ください

対応内容	対応方法
利用者とのオンラインによる交流	1. ほとんどの実習施設で協力を得られた 2. 実習施設によって、協力を得られたこともあった 3. ほとんどの施設で、協力を得られなかった 4. これまで依頼したことがない
オンライン又は招聘による施設・事業所職員とのディスカッション	
シミュレーターを用いての介護技術に関する演習	
模擬実習（カンファレンス、ミニ講義、介護技術のビデオ供覧と解説、試問、レポート提出）	
介護現場における利用者を観察する視点の醸成を目的とする授業	
介護記録等を用いたケーススタディ	
実習予習ノートを用いた学生の在宅学習（指導教員や実習施設指導担当者の質問へ回答）	
資料等で模擬的に利用者の状況の変化を確認・評価しながらの計画策定	
リアルタイムで利用者の状況の変化を確認・評価しながらの計画策定	
学生が役割分担するなどにより、学内でのロールプレイ形式での介護技術の修得	
その他（ ）	

[問20—実習Ⅱで1.を選択した方]

問20-5. 前問で回答いただいた代替実習内容（実習Ⅱ）の中で、実習目標を達成するため最も効果があったと感じる形式を教えてください。（SA）

1. 利用者とのオンラインによる交流
2. オンライン又は招聘による施設・事業所職員とのディスカッション
3. シミュレーターを用いての介護技術に関する演習
4. 模擬実習（カンファレンス、ミニ講義、介護技術のビデオ供覧と解説、試問、レポート提出）
5. 介護現場における利用者を観察する視点の醸成を目的とする授業
6. 介護記録等を用いたケーススタディ
7. 実習予習ノートを用いた学生の在宅学習（指導教員や実習施設指導担当者の質問へ回答）
8. 資料等で模擬的に利用者の状況の変化を確認・評価しながらの計画策定
9. リアルタイムで利用者の状況の変化を確認・評価しながらの計画策定
10. 学生が役割分担するなどにより、学内でのロールプレイ形式での介護技術の修得
11. その他（ ）

IV. 貴校の基礎情報

問22. 貴校の養成校の種別を教えてください。(SA)

1. 高等学校 ⇒問22-1へ
2. 専門学校 ⇒問22-4へ
3. 短期大学 ⇒問22-4へ
4. 大学 ⇒問22-4へ

[問22で1.を選択した方]

問22-1. 貴校の高校名を教えてください。(FA)

高校名	□□□□
-----	------

[問22で1.を選択した方]

問22-2. 貴校の介護福祉士養成課程年数を教えてください。(SA)

1. 2年
2. 3年

[問22で1.を選択した方]

問22-3. 貴校の介護福祉士養成課程における学生数を教えてください。(数値)

※2023年9月1日時点の状況を記入してください。

学生数 (全学年計、介護福祉養成課程のみ)	介護福祉養成課程の全生徒 () 名
--------------------------	--------------------

[問22で1.以外を選択した方]

問22-4. 貴校の4桁の養成校の番号(会員番号)を教えてください。(数値)

養成施設の 会員番号	□□□□
---------------	------

[問22で1.以外を選択した方]

問22-5. 貴校の介護福祉士養成課程年数を教えてください。(SA)

1. 1年制
2. 2年制
3. 3年制
4. 4年制

[問22で1.以外を選択した方]

問22-6. 貴校の介護福祉士養成課程における学生数を教えてください。(数値)

※2023年9月1日時点の状況を記入してください。

学生数(全学年計)	全校生徒 () 名、うち留学生 () 名
-----------	------------------------

問23. 貴校の教員数を教えてください。（数値）

※2023年9月1日時点の状況を記入してください。

教員数	専任教員数（ ）名、うち実習担当者（ ）名 その他教員数（ ）名、うち実習担当者（ ）名
-----	---

問24. 実習における養成校内での実習指導責任者の設置状況を教えてください。

(SA)

1. 設置している
2. 設置していない
3. 実習担当教員は1名しかいない

問25. 今後、養成校と実習施設の連携についてのヒアリングをお願いする可能性があります。もし、ヒアリングをお受けしていただける場合は、弊社からご連絡する際に使用しますので、ご担当名・ご連絡先等をご教示ください。（FA）

ご担当者名	
電話番号	
メールアドレス	

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。